

## 港をめぐる新たな取り組み



## 室蘭港全景



2

## 白鳥大橋



3

## 中央埠頭・新日鉄等を含む全景(測量山より)



4

## 室蘭の今昔

	昭和44年	平成15年
人口 *住民基本台帳	183,125人	101,442人
世帯数	47,257世帯	47,530世帯
事業所数 *工業統計	207事業所	227事業所
従業者数	17,978人	7,561人
製造品出荷額	19,11億円 <small>33,10億円*国内企業物価指数より</small>	56,91億円
入港船舶数	11,402隻	7,949隻
総トン数	19,487,905トﾝ	29,188,101トﾝ

5

## NPO法人 羅針盤 設立のきっかけ



鉄鋼等による基幹産業の縮小、  
苫小牧港による流通の変化  
(衰退する室蘭を憂う者達が集まり「羅針盤」をつくる)

6

## NPO法人 羅針盤 設立趣旨・設立目的



### 設立趣旨

今の私たちを取り巻く様々な環境変化の中で、衰退しつつある私たちのマチ、室蘭市、および室蘭港と共に栄えてきた周辺地域を活性化するために、まちづくりとひとづくりの為にアイデアを提案し、実践し、豊かで潤いのあるまちづくりと合わせて地域の将来を担うひとづくりに寄与することを目的とする。

### 設立目的

市民、行政、大学、企業等とのネットワークのもと、室蘭市を中心とした海に面した地域の特色を活かしたまちづくりに関する事業を行い、地域の活性化に寄与することを目的とする。

7

## NPO法人 羅針盤 事業内容

港と共に栄えてきた室蘭の活性化を思うとき、室蘭のまちづくりには港は欠かせない現状、活気づくものがなかなか見つからない。室蘭港は流通、産業だけの港ではない、文化も発信できる港づくりはできないか。

### 事業内容

- まちづくりの為にプランづくりと実践  
随時、各界各層からなる勉強会を開催し、まちづくりの具体的なプランづくりと実現のための活動を行う。
- まちづくりの為にイベント開催  
プラン実現に向けた環境づくりと広報活動の一環として必要に応じて羅針盤が3号倉庫の利用受付を初めイベントの開催または支援を行う。
- まちづくりの為にネットワークづくり  
各界各層の個人・団体とのネットワークづくり。
- まちづくりの為に人材育成  
実践や勉強会などを通じ地域の将来を担う人材育成をはかる。
- その他上記事業に付随する事業  
まちづくりの活動を行う他団体との協力事業

8

## 第2回全国都市再生モデル調査 事業概要

### 目的

市内各地域でまちづくりに取り組んでいるNPOや市民グループ、地元商店街関係者、地元企業と連携しながら、かつて賑わっていた「まち」を元気にするために、地元主要工場の新たな取組(廃棄物・リサイクル対策、PCB処理対策)、都市再生の動き(「地球温暖化対策・ヒートアイランド対策モデル地域」に室蘭市臨海地域が指定)、既存ストック等を有効に活用する方策を検討する。

### 対象地域

北海道室蘭市  
室蘭市人口 約100,000人(住居・工場・港・商店街混在地域)

### 活動概要

1. 現況調査(市内の経済産業状況、古くからの中心市街地・商店街の状況、市民・町内会等へのヒアリング等)
2. 課題の抽出・整理
3. 地元主要工場の新たな取組を活用する方策の検討  
廃棄物・リサイクル対策、(2)PCB処理対策、(3)風力・太陽光発電事業
4. 都市再生の動きを活用する方策の検討  
(1)「入江地区広域センタービル(仮称)建設事業」、(2)「中央土地区画整理事業」
5. 低未利用な既存ストックの有効活用方策の検討  
(1)港湾の倉庫、(2)オープンスペース、(3)空き店舗
6. 「まち」を元気にする実験の実施と結果の考察  
(1)既存イベントにおける商店街や地元工場との連携、(2)豪華客船(10/7に室蘭港入港)の乗客(主に外国人)等を「まち」全体でもてなす取組の実施
7. 活用方策のとりまとめと今後の行動計画及び公共空間の整備計画の策定

9

## 第2回全国都市再生モデル調査 背景

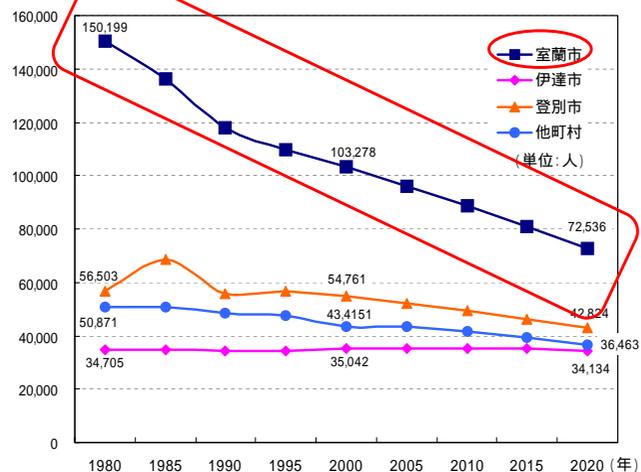
室蘭市は、明治5年の開港以来、北海道の生産・物流の中心的工業都市として発展してきた。しかし、高度成長期に約18万人に達した人口は、その後の産業構造の変化等により減少を続けている。また、団塊の世代の活発な持家取得需要と、バブル期をピークとする地価の高騰は、住宅地の郊外化と都心部の空洞化という現象をもたらした。

人口総数の減少、世帯の郊外移動、そして、少子化・高齢化の進行に伴う消費購買力の低下は、「古くからの中心市街地や主要企業の工場・住宅商店街の衰退」といった状況となって現れている。しかも、室蘭市は、2020年には人口73,000人、その39%、28,000人が65歳以上の高齢者であると、西胆振地域の中でも人口の減少と少子化・高齢化が最も急速に進むと予測されている。

## 第2回全国都市再生モデル調査 背景

(図表1) 西胆振の人口推移と予測

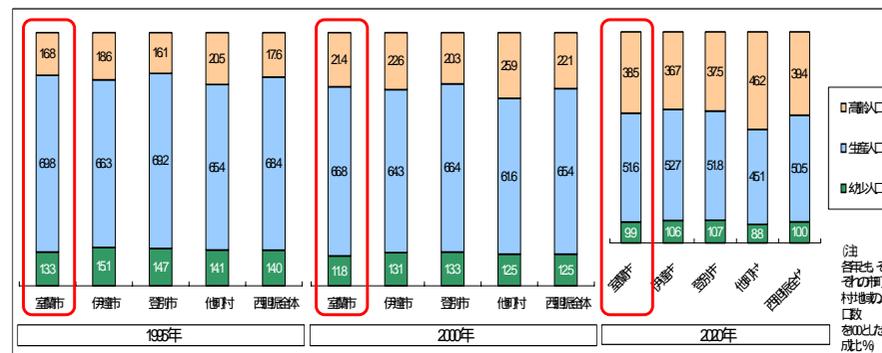
西胆振地域の市町村の中で、室蘭市の人口の減少率が最も大きい！



11

## 第2回全国都市再生モデル調査 背景

(図表2) 西胆振の年齢3区分別人口の推移と予測  
室蘭市は、西胆振地域で最も少子高齢化が進む！



12

## 第2回全国都市再生モデル調査 背景

このような状況に対して、地元主要企業やNPO法人等により様々な取り組みがなされているが、市民にとっては、それらの活動と「まちづくりとの接点」や「まちづくりへの波及効果」がよく見えていないのが現状である。



市民団体、商店街、企業、行政と連携により、地元主要企業の新たな取り組み、都市再生の動き、中心市街地・商店街施設などの活用を、「まちづくり」の計画、事業に波及・連動させる施策の検討と、市民、商業、企業、行政との意識の共有化を図ることは、室蘭市にかつての「にぎわい」を取り戻す上で大きな意義を持っている事業と位置づけられる。

13

## 第2回全国都市再生モデル調査 目的

市内各地域でまちづくりに取り組んでいるNPOや市民グループ、地元商店街関係者、地元企業と連携しながら、かつて賑わっていた「まち」を元気にするために、地元主要工場の新たな取組(廃棄物・リサイクル対策、PCB処理対策)、都市再生の動き(「地球温暖化対策・ヒートアイランド対策モデル地域」に室蘭市臨海地域が指定)、既存ストック等を有効に活用する方策を検討する。

14

## 第2回全国都市再生モデル調査 調査内容

基礎資料調査  
室蘭地域の既存資源の調査

課題の抽出・整理

地元主要工場の  
新たな取組を活用する  
方策の検討

都市再生の動きを  
活用する方策の検討

低未利用な既存ストックの  
有効活用方策の検討

「まち」を元気にする  
実験の実施と結果の考察

活用方策のとりまとめと  
今後の行動計画及び  
公共空間の整備計画の策定

15

## 第2回全国都市再生モデル調査～調査構成

(1)現状把握

統計資料分析  
地域実態(既存ストック)調査

(2)実験検証

以下の3イベントでアンケート調査  
スワンフェスタ  
アイアンフェスタ  
豪華客船ウエルカムイベント

(3)方策検討

地元主要工場の新たな取組を活用する方策  
都市再生の動きを活用する方策  
既存ストックを有効活用する方策

(4)共有・交流のステージ

「まち」元気にする  
シンポジウムの開催

## 第2回全国都市再生モデル調査～現状把握より課題抽出

「まち」を元気にすること

「まち」を元気にする(活性化)とは、もっと、人と人、人と商店、人と企業を結ぶ「コミュニティ」にしてゆくことである。  
それにより、かつての商店街のように、地域に、楽しい、面白い「コト」をたくさん創り出し、その楽しさをたくさんの人々とわかちあうことである。

### 経済産業振興の課題と方向性

環境保全やエコロジーをテーマとした企業の取り組み、都市計画を活かした「コンテンツ産業」としての観光事業の育成

### 経済産業振興の課題と方向性

積極的な情報発信による連携・交流の促進

### 既存ストックの利活用

対症療法ではない中長期視点でのソフト面での取り組み

## スワンフェスタ



18

## アイアンフェスタ



19

## 豪華客船ウエルカムイベント



20

## 第2回全国都市再生モデル調査～方策検討

室蘭を元気にするためには、今そしてこれからの産業集積、都市計画(施設)、市民活動、イベント等を、地域全体の「もてなし」として統合する機能を整備することが基本的な方策である。

統合機能の整備とは、様々な市民活動、企業の取り組み、都市計画を、「もてなし」をコンセプトとするコミュニティづくり結びつけ、その情報を内外に発信し、次世代へ受け継がせて行くリーダーシップを持つ「人づくり」であり、これこそが室蘭を元気にする核心である。



市民・NPO・団体・企業・行政等の様々な取り組みや情報を、地域全体での「もてなし」の取り組みとして統合(コーディネート)する「人づくり」施策

## 第2回全国都市再生モデル調査～まちを元気にするシンポジウム開催

まちを元気にするシンポジウム

日時：平成18年3月11日(土)

会場：室蘭市市民会館

平成17年度全国都市再生モデル調査中間報告  
基調講演：「まち」を元気にする「みなと」  
社団法人日本港湾協会 理事長 栢原英郎氏  
パネル・ディスカッション

22

## ～まちを元気にするシンポジウム開催



23

## 第2回全国都市再生モデル調査～「まち」を元気にする提言

「港」を「もてなし」の広場であり、入り口としてとらえ、港の都市計画や歴史の再確認を行いながら、NPO、市民、団体、企業、商店(街)、行政と連携した「もてなし」の仕組みと仕掛け作りと、それをコーディネートする人材の育成を図る。

24

「まち」を元気にする方策の提言～「室蘭はあとポート計画」

4つのエリアの連携で自然・歴史・文化・港と都市の計画が融合した新しい  
みなとまち活性化モデル「室蘭はあとポート計画」を策定しました。

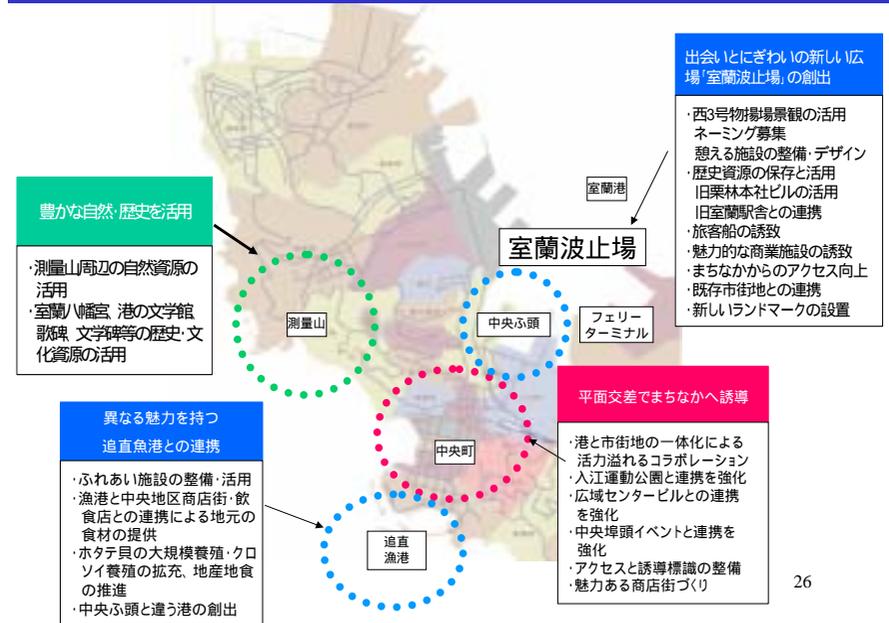
出会いと賑わいの新しい広場「室蘭波止場」の創出

地域の宝物になっている豊かな自然・歴史・文化資源の活用

異なる魅力を持つ2つの港、室蘭港、追直漁港の連携による地域の活性化

平面交差交通、施設・イベントとの連携による室蘭港と中央町の一体化促進

「まち」を元気にする方策の提言～「室蘭はあとポート計画」

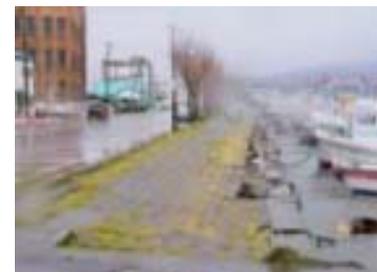


「室蘭はあとポート計画」～「室蘭波止場」プロジェクト

室蘭港「西3号物揚場」周辺に緑道、花壇、ベンチなどを整備して、港の新しい遊びと憩いの空間と景観を創出。中央町、中央埠頭と連携して、室蘭港の回遊性とイメージアップを図る。

「追直漁港Mランド計画」「白鳥新道第2期工事計画」  
「(仮)入江地区広域センタービル」建築計画とリンクさせて  
中央地区の活性化に結びつける。

「室蘭はあとポート計画」～「室蘭波止場」プロジェクト



西3号物揚場周辺現況  
(左端:旧栗林本社ビル)



追直漁港完成イメージ図  
(平成17年度橋梁工事着手)

## 「室蘭はあとポート計画」の推進

「室蘭はあとポート計画」を、産学官と市民の連携による  
5つのプロジェクトで推進

成せば鳴る蘭の鐘  
プロジェクト

室蘭港立市民大学・大学院  
プロジェクト

入港客船  
ウエルカム・イベント

「市営3号倉庫」  
アート・ペンティング

ウエルカム「旗」  
プロジェクト

29

## 「成せば鳴る」蘭の鐘プロジェクト

我々NPO法人羅針盤は、本プロジェクトによって臨海工業都市むろらんの象徴とも言える「ものづくり」の技術を最大限活用し、「ものづくりのまちむろらん」を元気にする方策として、一般市民や、企業、大学、行政の連携のもと、世界一(目標:ギネスブック認証)の希望の鐘「成せば鳴る蘭の鐘」設置、実現に向け、進める計画です。

30

## 「港立市民大学大学院」プロジェクト

現在、「室蘭大好き人間」を増やし、港と一体となった夢の描けるまちづくりを目指して、室蘭市民の有志が平成16年度に開校した「室蘭港立市民大学」が活動している。市民大学は年7回の講座を開催し、在学期間は1年。卒業生は2年間で約130人にのぼっている。そこで、「室蘭港立市民大学」の卒業生を対象に、「(仮)室蘭港立市民大学大学院」を開校して、「まちづくりを実践する人材」の育成を図る。

31

## 入港客船ウエルカムイベント

室蘭港に入港する客船を、「まち」全体で、もてなすことが、新たな客船の誘致や乗客のリピータンス、口コミにつながり、長期的に室蘭観光客が増えることになる。また、商店街や企業、市民の連携により、経済的な効果も十分に期待できる。したがって、「まち」を元気にする上で、入港客船の「もてなし」は大きな意義があり、市民全体の取り組みで成果を作り出す。

32

ダイヤモンドプリンセス入港(入港客船ウエルカムイベント)

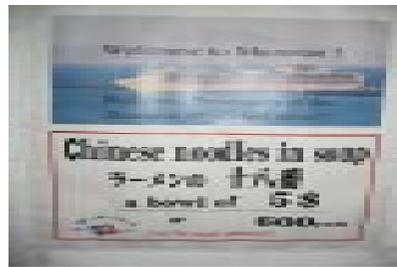
ダイヤモンドプリンセス入港

日時 : 平成17年10月7日(金)  
会場 : 崎守埠頭

ダイヤモンドプリンセス入港



ダイヤモンドプリンセス入港



サファイアプリンセス入港(入港客船ウエルカムイベント)

サファイアプリンセス入港

日時 : 平成18年9月26日(火)  
会場 : 崎守埠頭

## サファイアプリンセス入港



37

## 「市営3号倉庫」アート・ペインティング

室蘭の「ふるさとDNA」は港であり、そのシンボルのひとつである中央ふ頭「市営第3倉庫」の活用を市民参加型イベントとして提案する。

フェリーふ頭を挟んだ反対側の、日本製鋼所の13本整列煙突の「カラリング」も行えば、更に景観創出、シンボル効果が高まる。

38

## 「市営3号倉庫」アート・ペインティング



市営3号倉庫現況



日本製鋼所13本整列煙突現況

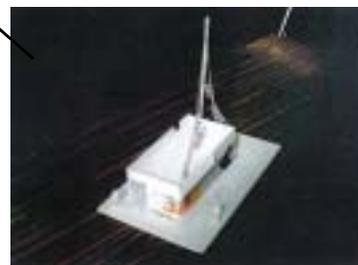
39

## ウエルカム「旗」プロジェクト

北海道唯一の旅客船バースである中央ふ頭広場に鉄筋コンクリート造平屋のトイレが設置されることとなった。このトイレをウエルカム・フラッグを掲げるポールを付設し、旅客船を歓迎する機能を持たせる。また、トイレ建物壁面を地域のイベント情報等を掲出する「サインボード」として活用し、旗と共に、乗船客への歓迎を演出する。

40

## ウエルカム「旗」プロジェクト



室蘭港中央ふ頭トイレの整備イメージ

## 第2回全国都市再生モデル調査 課題

現状の産業集積、施設、市民活動、イベントを活用する仕組み・仕掛けを創ることで、「まち」を元気にする可能性が高い。そのためには「出会い」「交流」の他に、「統合」の機能も必要不可欠である。「統合」とは、リーダーシップである。リーダーシップを持つ人づくりを制度化し、室蘭港を「水のある大きな広場」として、様々な市民活動、企業の取り組み、都市計画と結びつけ、活用し、その情報を内外に発信したり、次世代に受け継がせて行くことが、室蘭を元気にする方向性である。

## フェリー埠頭全景



## 測量山



白鳥大橋とフェリー



45

白鳥大橋の夜景



46

絵鞆臨海公園から見た風力発電と白鳥大橋



47

測量山中腹から見たテレビ塔



48

## 白鳥大橋と測量山

---



49

## 白鳥大橋の夕景

---



50

## 室蘭の夜景

---



51